

安藤ハザマのサステナビリティ戦略

私たち安藤ハザマは、社会の期待に応え、さらなる社会価値を創造する企業グループになることを目指しています。その実現に向け、E・S・Gそれぞれの観点から、重要な戦略テーマ(マテリアリティ)を設定しています。

優先して取り組むコアSDGs、KPI (2023年7月更新ベース)

マテリアリティ 関連SDGs	CSR重要テーマ	コアSDGs	KPI	数値目標	達成年度	2022年度
社会課題の解決と社会への価値創造 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会やお客様の満足と信頼獲得 ■ 地域社会との調和 ■ 安全で働きやすい労働環境 		重大な労働災害	0件	毎年度	0件
			度数率	0.40以下	2023年	0.64
			教育研修受講率(人権)	100%	2025年	—
			女性管理職人数(課長クラス相当)	60人	2025年	29人
			4週8閉所実施率*1		毎年度	
			土木 建築	100% 100%		99.0% 88.6%
			従業員エンゲージメントスコア	80%以上	2025年	72%
			生産性向上*2	10%以上(2020年度比)	2025年	4.5%
			特許出願件数	75件/年	2025年	42件
			地方創生	3件以上(3か年累計)	2025年	—
地球環境の保護と調和 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊かな環境づくり 		CO ₂ 排出削減率(Scope1+2)	34%以上(2017年度比)	2025年	24.7%
			CO ₂ 排出削減率(Scope3)	21%以上(2017年度比)	2025年	33.5%
			ZEB提案件数	5件	2024年	8件
			再生可能エネルギー電気利用割合	80%	2030年	16%
			重大な環境事故	0件	毎年度	0件
			建設廃棄物の再資源化推進 (土木)混合廃棄物総排出量の削減 (建築)新築工事での混合廃棄物の発生原単位の削減	0.8t/施工高(億円) 6.5kg/延床面積(m ²)	2024年 2024年	0.6t 3.09kg
サステナブル経営の推進と責任の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公正で誠実な企業活動 ■ ステークホルダーとのコミュニケーション 		女性取締役比率	30%以上	毎年度	25.0%
			社外取締役比率	50%(過半数)	毎年度	33.3%
			情報セキュリティ講習受講率	100%	毎年度	100%
			コンプライアンス研修受講率	100%	毎年度	100%

*1 4週8閉所が困難な現場を除く(4週6閉所以上の年間閉所を確保し、社員は4週8休を確保できる体制を整備)

*2 日本建設業連合会の生産性指標(技術者・技能者1日(8時間)当たりの施工高(完成工事高/人工))に基づき算出

リスクと機会を踏まえた、エンゲージメント

マテリアリティに掲げたテーマを確実に推進するため、私たちは、リスクと機会を常に意識しながら、ステークホルダーの皆さまのご期待、ご関心、ご要望などを的確に把握し、適切に活動に反映する仕組みの構築に努めています。2020年初頭以降、重要テーマごとの実施に大きな影響を及ぼしつつあるのが、新型コロナウイルス感染症の拡大です。当社はこれを適宜加味しつつ、「ニューノーマル」や「アフターコロナ」と称されるビジネスと生活様式の変化も見据えたPDCAを展開しています。

安藤ハザマが認識しているメガトレンド(社会・環境リスクおよび機会)

さまざまな価値観が存在し、多様性が求められる時代

リスク

経済成長の鈍化・
競争環境の悪化
地政学リスクの高まり
資材・燃料の高騰
少子高齢化・担い手不足
気候変動の進行
感染症の蔓延



サステナビリティ対応
脱炭素・生物多様性
技術革新による生産
性向上ニーズ
人的資本経営
ウィズ・アフター
コロナにおける
ニューノーマル



機会

国土強靱化
スタートアップ支援など
事業創出機運の高揚
Society 5.0実現化
新しい資本主義
人権尊重の世界的気運



より強くサステナブル経営が求められている

ステークホルダーエンゲージメント

社会の価値観が常に変化する中、社会の一員として確実に責任を果たし、かつ、お客様や社会に価値のあるものづくりを実現し続けるためには、さまざまなステークホルダーの皆さまと対話・協働するプロセスが重要であると安藤ハザマは考えてい

ます。このような考えに基づき、さまざまな機会を通じ社会の声を企業活動に反映していく取り組みを推進しています。なお重要な対話内容は各種の委員会などを通じ、適宜経営陣に共有され、マテリアリティの継続実践に反映されています。

ステークホルダー	考え方(方針)	主な対話のチャンネル例	主なテーマ、関心事
お客様	お客様のニーズ、社会からの要請、期待を把握し、高い技術力に基づく安全、安心、高品質な良いものづくりで、お客様満足、社会からの信頼の向上、および社会課題の解決に努めます。	お客様問い合わせ窓口、満足度調査、事業活動	高品質なものづくり、社会課題を解決するものづくり
株主、投資家	適時適切な情報開示、株主や投資家の皆さまとの双方向コミュニケーションにより、皆さまに適切に評価いただくとともに、寄せられた意見、要望を企業活動の参考とし、社会発展への寄与を通じて企業価値の向上に努めます。	IR・SRミーティング、株主総会、決算発表・説明会、IR・SR情報(適時開示情報等)のウェブサイト、現場見学会	適時適切な情報開示、リスク・機会両面での情報発信
ビジネスパートナー 協力会社	公正な取引慣行の実践と、人権、労働安全衛生、環境に配慮したサプライチェーンの構築により、協働して持続可能な社会の実現、社会価値の創造に貢献し、パートナーとして共に持続的な成長を目指します。	安藤ハザマ協会の、事業活動、展示会、イベント	労働安全衛生、適切な施工管理、公正な取引慣行
社員	多様な社員が安心、安全に、かついきいきと働け、一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう、職場環境、各種制度の整備、および公正な処遇、キャリア形成に努めます。	社員満足度調査、定期的な面談、労使協議、ヘルプライン	労働安全衛生、多様性の配慮、キャリア形成、公正な処遇
地域社会	さまざまな地域において、事業活動・社会貢献活動を通じて、地域社会の発展、将来世代の育成に貢献し、企業市民としての責任を果たし、地域社会との共生に努めます。	社会貢献・文化貢献活動、現場見学会、体験学習会	地域社会との調和、将来世代の教育などコミュニティへの支援

安藤ハザマの『CSR基本方針』

CSR経営を徹底し、サステナブルな社会の実現に貢献することは、企業の本質的な使命です。その考えのもと、安藤ハザマは『CSR基本方針』を定め、さまざまな活動を展開しています。今後さらに、SDGsやESGへの取り組みを強化し、設定したマテリアリティに掲げたテーマを確実に推進していくため、引き続き、社員一人ひとりに、CSR活動の核となる基本方針の着実な浸透を図ります。そして、社会から日増しに高まるサステナブル戦略への期待に、グループ丸となって応えていきます。

『CSR基本方針』

安藤ハザマは、確かな技術と情熱で、安心・安全・高品質な「良いものづくり」の実践を通して社会やお客様の発展に寄与し、豊かな明るい未来の実現を目指していきます。